

感動の嵐 飯田に再上陸 いいだ人形劇フェスタ2004



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,868人
男子 3,361人
女子 3,507人
世帯数 2,162戸
(16年8月末現在)

今年も飯田の街に、暑い夏、人形劇の夏がやって来た!!
「いいだ人形劇フェスタ2004」が「つながつて未来へ」家族・世界のなかまたちをテーマに、八月五日から八日まで開催され、竜丘地区では実行委員会が熱心にとりくみ、素晴らしい上演が行なわれました。



駄科公民館

「創価大学ハッピー・ファミリー」による『歌で世界をつなげよう・ねこのお医者さん・ジャングルは大さわぎ』の三本が上演されました。

竜丘地区では、五会場に於いて、七劇団の公演に延べ千人を超える観衆が集いました。
時又ふれあいセンターでは、「人形一座ホケキョ影絵芝居」による『ちくわ仙人』が上演されました。繊細な人形と、どこかあやしい語り、それを多国籍の楽器の生演奏で色どる、中国風人形と津軽三味線による日中合作的影絵芝居。山奥にぐうたら寝て暮らしていた仙人が、どういふ風の吹きまわしか、王のところで自分の術を役に立てようと思いつき、王宮へと向かい、物事を起こすというストーリーでした。

長野原区民センターでは、「創価大学ハッピー・ファミリー」による『歌で世界をつなげよう・ねこのお医者さん・ジャングルは大さわぎ』の三本が上演されました。



ねぎぼうずサヨの公演

「創価大学ハッピー・ファミリー」による『歌で世界をつなげよう』と、「にんぎょうげきこロン団」による『人形劇なすのへたすけのきんのおのぎんのおの・エプロンシアターまよなかのあわあわふう』の二団体の公演がありました。あいさつできるかなは、ボケとツッコミで笑いをよんだ腹話術でした。なすのへたすけのきんのおのぎんのおのでは、なすのへたすけさんが、ある日、木を切りに森に出かけましたが、大事な

「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

「シバの女王の入場」を始めた。前半は、ヘンデル作曲の「交響曲運

「ヘビトンボ」といった虫が多く採取され、きれいな水に多い生物だと説明を受け、参加者はホッとした表情でした。夏の天竜川の自然に親しみ、水質保全など環境を考える良い機会となりました。



おのを沼に落とし、わたりやすというストーリーの「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

フルートとピアノの「しらべに魅了」
「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

フルートとピアノの「しらべに魅了」
「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

フルートとピアノの「しらべに魅了」
「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

フルートとピアノの「しらべに魅了」
「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

フルートとピアノの「しらべに魅了」
「ねぎぼうずサヨ」の『おぼけのピヨヨン』という、二団体の上演でした。おぼけのピヨヨンは、おぼけのテストは人間の子どもを怖がらせると合格になります。テストに合格したいおぼけのピヨヨンは、人間の子どもを怖がらせるのですが、子どもは怖がらず、泣いてもくれば、笑ってもくれば、そんなピヨヨンは、テストに合格できるのでしょうかという内容のストーリーです。

天竜川の昆虫を
つなごう
虫に学ぶ地域環境講座
去る八月六日、「虫に学ぶ地域環境講座」が、「天竜川水中探検、天竜川の昆虫をつなごう」のテーマで、久米川との合流地点付近の河原で開かれました。これは、国土交通省天竜川上流河川事務所が、水質保全と河川愛護の普及啓発を目的に、昭和五十九年から実施している、天竜川水生生物調査に参加するかたちで行われました。

天竜川の昆虫を
つなごう
虫に学ぶ地域環境講座
去る八月六日、「虫に学ぶ地域環境講座」が、「天竜川水中探検、天竜川の昆虫をつなごう」のテーマで、久米川との合流地点付近の河原で開かれました。これは、国土交通省天竜川上流河川事務所が、水質保全と河川愛護の普及啓発を目的に、昭和五十九年から実施している、天竜川水生生物調査に参加するかたちで行われました。



天竜川の昆虫を
つなごう
虫に学ぶ地域環境講座
去る八月六日、「虫に学ぶ地域環境講座」が、「天竜川水中探検、天竜川の昆虫をつなごう」のテーマで、久米川との合流地点付近の河原で開かれました。これは、国土交通省天竜川上流河川事務所が、水質保全と河川愛護の普及啓発を目的に、昭和五十九年から実施している、天竜川水生生物調査に参加するかたちで行われました。

今年も盛り上がった 各地区の夏祭りレポート

今年も、各地区で手作りの夏祭りが盛大に行われました。今回はそれぞれの特徴あるお祭りをレポートします。

時又 八月一日(日)

時又七夕祭りは運動会にかわる区全体のイベントとして平成十三年に始まり、今年で四回目となりました。分館が中心となり、各種団体で実行委員会を組織して運営しています。

当日は会場の時又港にそれぞれの七夕飾りが並びます。午後三時から夜八時まで、保育園マーチングバンドや小学生ダンスチームの発表、バンド演奏やビンゴ大会などで楽しみました。また、壮年団や商栄会の屋台も人気を博していました。

駄科 八月八日(日)

駄科夏まつりは、今年で二十六回を数えます。長い歴史を刻むうちに、真夏の一大イベントとしてすっかり定着してきました。

例年八月十日の夜をメインに区民広場で開催していましたが、今年初めて昼に開催しました。目玉は手



分館長に挑戦 ジャンケンポン

二十六回を数えます。長い歴史を刻むうちに、真夏の一大イベントとしてすっかり定着してきました。

桐林 八月八日(日)

桐林サマーカーニバルは、地区民が交流し、地域づくりの活力や、子どもの夏休みの思い出になるよう、分館を中心に関係団体で実施しているものです。

今年初めて昼に開催しました。目玉は手

長野原 八月十五日(日)

長野原納涼夏祭りは分館や壮年団、煙火会などが実行委員会を



涼しげな流しそうめん

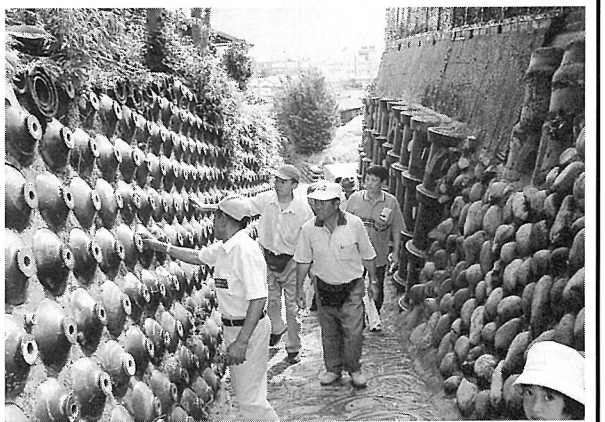
匠と倉人の技術、海運の歴史を見る 公民館委員研修旅行

去る七月十九日海の日公民館委員研修旅行が、十一名の皆さんが参加して行われました。

今回は、「匠と倉人の技術、海運の歴史を見る」をテーマに、愛知県知多半島方面を訪れました。

朝、竜丘公民館を出発。バスは、中央道・名神高速・名古屋高速・知多有料道路を走り、まずは半田市へ向かいました。

半田市では、ミツカン博物館『酔の里』を見学しました。酔は、日本人にとって昔からなじみの深い調味



物からは、素材で深く神秘的な味わいを感じました。暑い一日でしたが、訪れた土地の歴史、文化に触れた研修旅行でした。

戦争の悲惨さを学ぶ 親子映画鑑賞会

今年の親子映画鑑賞会は、七月十七日に、小学校PTA、社会福祉協議会、公民館共催で、「えっちゃんのせんそう」を見ました。

小学校PTAで今年どの映画を観たいか検討し、子ども達が喜びそうで、また、今の世界的なニュースも考え、公民館に希望を伝えました。

当日は、二百十余名の参加者があり、うち半数は小学生でした。梅雨明けで蒸し暑い日でしたが、快適な設

日本人の立場が一気に逆転してしまつたこと、日本への引き上げでのきごと、戦争が引き起こしたさまざまな問題を子どもたちの心で見つめようとする姿が描かれていました。

参加者からは、「戦争を知らないからこそ、こういう機会に学び考えていきたい。大切な機会をありがとうございまして」「戦争を、映画やニュースでしか知りません。子どもたちの戦争と子どもを二人産んで兵隊

当日は、二百十余名の参加者があり、うち半数は小学生でした。梅雨明けで蒸し暑い日でしたが、快適な設

八月十五日の終戦により、聞かれました。



また他地区からの参加者は、PTA・公民館共催の上映会のすごさ、子ども達の参加が多いことも、すば



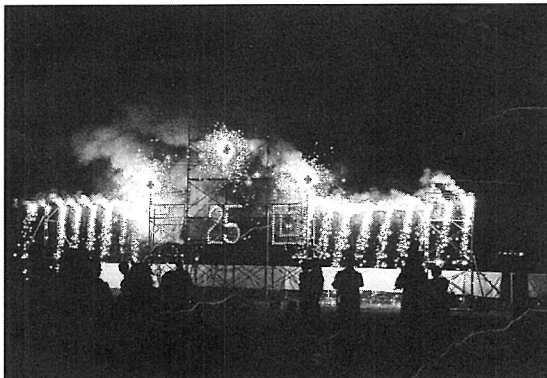
子どもたちの熱唱

作り、区民広場を会場

新しい地域参画を 目指し解散 竜丘女性団体連絡協議会

六月十日、竜丘女性団体連絡協議会代議員会が行われ、今後の活動方針について協議がなされました。

六月十日、竜丘女性団体連絡協議会代議員会が行われ、今後の活動方針について協議がなされました。合併問題をはじめとする社会状況の中で、地域においても住民参画による住みよみまちづくりが益々求められています。



煙火会の仕掛け花火

地区が一体となった手作り祭りの祭りは、今年も最高の夏の思い出をくれました。

上川路地区は十一月三日に秋祭りがありますので、今回はレポートがあまりありません。後号で報告したいと思います。

代議員会では、これまでの活動について充分評価をした上で、十五年度をもって女団連を解散することが可決されました。そしてこれから、地域づくりを考えていく場に積極的に参画して女性の声を反映させ、その中で必要な課題に取り組む新しい組織再編の必要性が上げられました。